

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	金子 侑生	学校名	習志野市立東習志野小学校
実施学年	第2学年	教科	生活科
単元名	「大きくおいしくそだつ ひみつはっけん」		

《学びを深めたいポイント》

「おおきくそだってね」の単元で、自分で選んだ野菜を植え、どうしたらおいしく育つか考えたり、調べたりした。また育った際は、どのように調理をして食べたいかを調べた。そうすることで、最後まで自分で世話をしようという栽培の意欲を高めることができた。本時では、春に植えた野菜の成長や変化を振り返ることができるようにしていきたい。そのために、目・鼻・耳・手・心と、観点を統一して野菜を観察するようにしていく。また、写真を撮影する際には、特に紹介したい部分を中心に撮影したり、成長が分かるように全体を撮影したりするように指導をした。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・児童用タブレット、テレビを活用し、Skymenu の「シンプルプレゼン」と「気付きメモ」の機能を使って野菜の様子を記録・共有をする。
- ・タブレット操作に不慣れな低学年の児童でも、Skymenu を活用することができるよう、簡単な操作にした。
- ・提出箱や画面提示から他の児童が作った「シンプルプレゼン」を見ることができるようにした。
- ・「気付きメモ」を活用し、次回の願いや振り返りを入力した。他の児童が入力したものをすぐに共有することができた。
- ・「シンプルプレゼン」、「気付きメモ」のどちらもタイピング操作ができない低学年が、文字を入力できるように手書き操作から、文字を入力できる機能を活用した。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	・以前の野菜の観察カードを振り返り、SKYMENU の「シンプルプレゼン」の使い方を理解する。【10分】	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の野菜の様子をタブレットや観察カードで確認する。 ・画面提示で、「シンプルプレゼン」の使い方や写真の添付の仕方を説明する。 ・タイピング操作ができない低学年が、文字を入力できるように、野菜の様子を一言入力する際に、文字→手書きで入力できる機能を活用した。 	・「シンプルプレゼン」の使い方を画面提示で説明する。

<p>展 開</p>	<p>・「シンプルプレゼン」で児童が作成する時間を作る。 【20分】 ・児童が作成した「シンプルプレゼン」を「画面一覧」で共有し、自分が育てている野菜の様子を紹介する。 【10分】</p>	  <p>・事前に撮影した野菜の様子を「シンプルプレゼン」に添付する。 ・一つ作成することができた児童は、2つ目を作成してする。 ・提出箱や画面提示で、児童の作成した「シンプルプレゼン」を紹介する。</p>	<p>・タブレット操作に不慣れな低学年でも、写真を載せるだけで、様子を紹介することができる。 ・タイピング入力ができなくても、手書き入力できる機能で読みやすい文字を入力できる。</p>
<p>ま と め</p>	<p>・次回観察した時にどのように育っていてほしいか考え、「気付きメモ」を入力する。【5分】</p>	 <p>・「気付きメモ」への入力の仕方を「画面提示」で説明する。 ・手書き入力で、授業の振り返りや今後の願いを入力する。</p>	<p>・「気付きメモ」で振り返りを行うことで、すぐに他の児童の意見を知らることができるため、共有を効果的に行うことができる。</p>

《実践を振り返って》

今回のスカイメニュークラウドを活用した授業実践を通して、成果や課題と考えられる点をまとめました。まず、成果としては、意欲的に写真を撮って、プレゼンを作成する児童が多かったことです。日頃の水やりの中で、「写真を撮ってもいい？」と聞かれたり、プレゼンや気付きメモをもっと作りたいという声があったりしました。また、他の児童が育てている野菜の成長の様子を共有できたことも成果であると考えます。自分の野菜以外にも少し興味をもつきっかけになり、自分の育てた野菜と他の野菜の成長を比べ、共通点や差異点を見つけることができました。また、プレゼンを見ることで野菜の成長の様子を振り返ることができる点も成果であると考えます。

課題としてあげられるのは、手書き操作の入力は、タイピングができなくても文字を入力できるという利点がある一方で、文字が識別されない場合があり、時間がかかってしまったり、戸惑ってしまう児童がいたりしました。また、写真のピントを合わせて撮ることに時間がかかったことも課題としてあげられます。

学年に応じた活用方法を今後も探していきたいと思いました。